

グローバル全生物ゲノム株式ファンド (1年決算型)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第6期（決算日2024年12月9日）

作成対象期間（2023年12月8日～2024年12月9日）

第6期末（2024年12月9日）	
基準価額	9,675円
純資産総額	19,849百万円
第6期	
騰落率	△4.6%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル全生物ゲノム株式ファンド（1年決算型）」は、2024年12月9日に第6期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<644552>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。社名変更後URL：www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

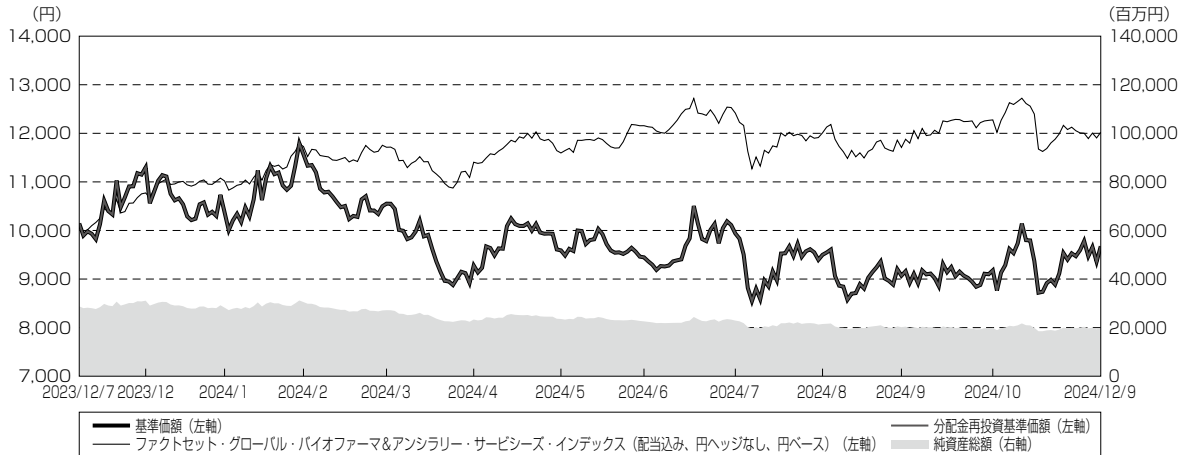
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2023年12月8日～2024年12月9日）



期 首：10,145円
 期 末：9,675円（既払分配金（税込み）：0円）
 騰 落 率：△4.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービス・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、期首（2023年12月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービス・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・人工知能（AI）や半導体への期待を背景に米国の主要株価指数が過去最高値を更新するなど、先進国において株式市場が好調に推移したこと。
- ・遺伝子編集や精密医療技術が大きく進歩したことや、高度な診断ツールの需要が拡大したこと。

<値下がり要因>

- ・中国の景気後退や中東情勢の悪化に対する懸念が市場の重しとなったこと。
- ・金利上昇や資金調達環境の厳しさがスタートアップ企業に影響を及ぼしたこと。
- ・一部の企業で冴えない業績を背景に株価が低迷したこと。

1万口当たりの費用明細

(2023年12月8日～2024年12月9日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 180	% 1.814	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(93)	(0.940)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(82)	(0.830)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(4)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	11	0.111	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(11)	(0.111)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.006)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	6	0.065	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(1)	(0.015)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
(その他)	(1)	(0.013)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	198	1.996	
期中の平均基準価額は、9,938円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

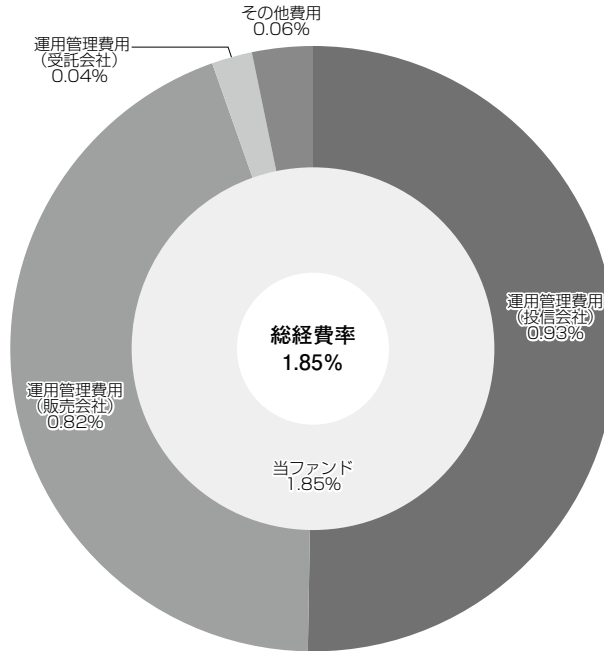
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

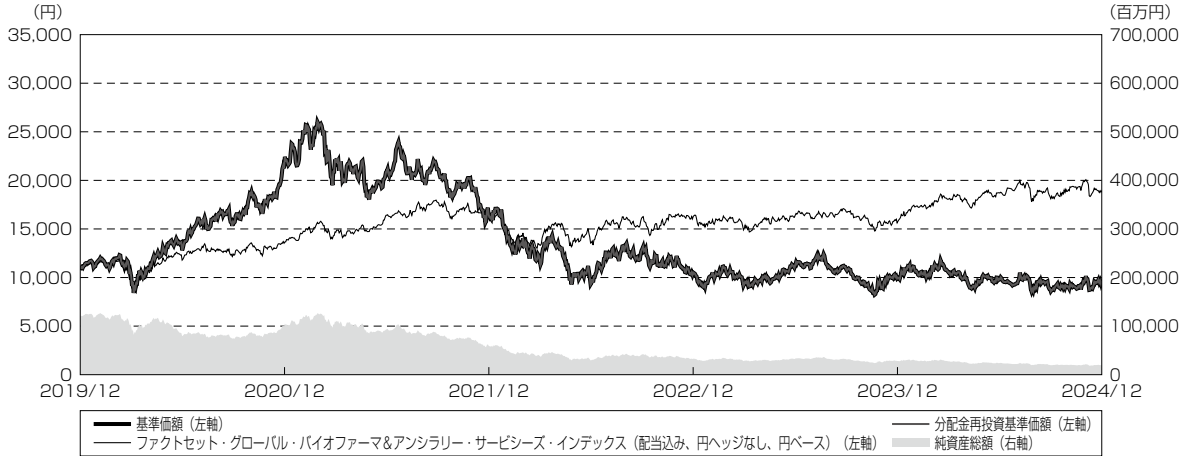
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2019年12月9日～2024年12月9日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシラリー・サービシズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、2019年12月9日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年12月9日 決算日	2020年12月7日 決算日	2021年12月7日 決算日	2022年12月7日 決算日	2023年12月7日 決算日	2024年12月9日 決算日
基準価額 (円)	11,045	20,354	15,813	10,349	10,145	9,675
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	84.3	△22.3	△34.6	△2.0	△4.6
ファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシラリー・サービシズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) 騰落率 (%)	—	22.5	15.1	2.9	△0.1	18.5
純資産総額 (百万円)	121,171	95,986	57,593	32,629	28,761	19,849

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) ファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシラリー・サービシズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

（2023年12月8日～2024年12月9日）

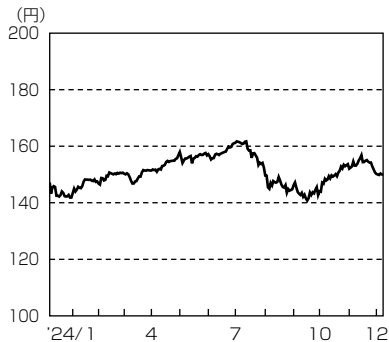
（株式市況）

米国連邦準備制度理事会（F R B）が2024年9月に利下げを実施して他の主要中央銀行に続くなか、株式市場はほぼ全地域で上昇しました。インフレ指標は、消費者物価指数（C P I）が予想の範囲内にとどまるなど、鈍化しています。日銀が利上げを実施して顕著に例外的な動きを見せると、世界のボラティリティ（変動性）が一時的に高まりました。期間の終盤にかけては、米国の大統領選挙の結果を受けて、規制の緩和や税負担の軽減に対する期待が市場全体の追い風となり、市場は大幅に上昇しました。

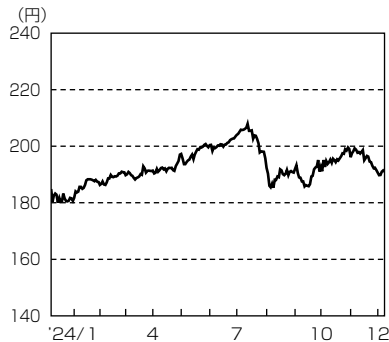
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

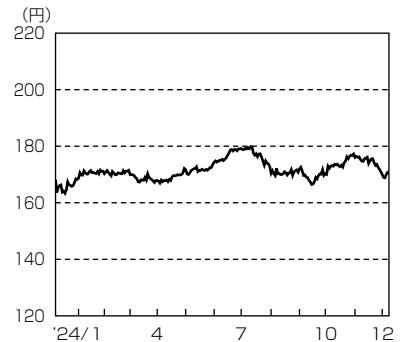
円／アメリカドルの推移



円／イギリスポンドの推移



円／スイスフランの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2023年12月8日～2024年12月9日）

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行っていません。

（グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド）

期間中の主な投資行動としては、がん治療へのアプローチ方法に革命をもたらしているテクノロジー企業のテンパスA I（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）を新規に組み入れました。A Iの力を活かした最先端のデータプラットフォームによって大量の患者データを分析し、それを用いて個々の患者の治療効果を予測することができます。この強力なツールを医師に提供することにより、より患者個人に合わせた治療選択肢を実現し、がん患者の治療成果の向上に貢献しています。

一方、Ginkgo Bioworks Holdings（素材）を全売却しました。アーリーステージ企業の資金調達環境が厳しさを増していることやバイオセキュリティ分野全般の収益性が低下していることを受けて、同社はより資金力のあるバイオテクノロジー企業や医薬品企業を対象とする営業モデルへと転換し、また、販売担当チームは方向性を改めて新しい顧客層の理解に努めています。また、細胞エンジニアリング・サービスにとどまらない研究開発支援サービスを展開していくために製品ラインナップの変更を進めていますが、この新たな製品スタンスは、従来から確固たる地位を築いている医薬品開発業務受託機関と競合することになります。

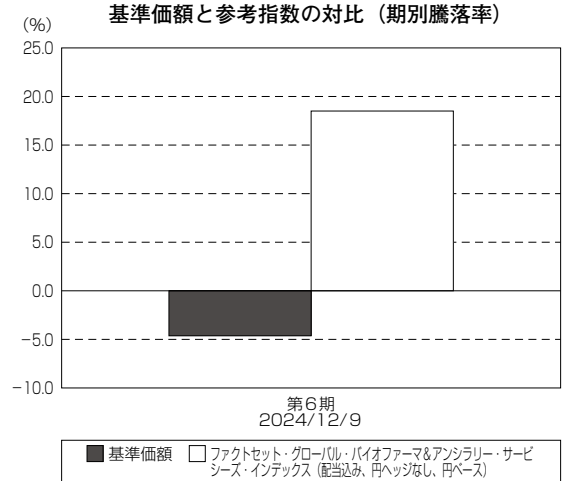
その他、市場全体のボラティリティや、当ファンドによる今後5年の年平均成長率予想と比較した足元の株価動向を勘案して、モデルナ（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）も全売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年12月8日～2024年12月9日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）ファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシラリー・サービス・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

（2023年12月8日～2024年12月9日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第6期
	2023年12月8日 ～2024年12月9日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,271

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド）

技術革新の進歩や費用曲線の低下に関連したデフレ圧力が今後3～5年間に於いてゲノム企業・ゲノム関連企業の売上数量増加をもたらし、生産性、収益性を押し上げることになると予想しています。より重要なこととして、DNAシーケンシング（DNA（＝核酸）を構成する塩基の配列を決定すること）やゲノム編集などに関連する技術的進歩によって科学的発見のペースが加速することで、病気の症状だけを抑えるという治療ではなく、患者一人ひとりの病気を根治する個別化医療の時代の到来が予想されます。細胞療法の革新と他家由来細胞の活用が組み合わせることで、細胞療法の市場規模がさらに1,500億アメリカドル拡大する可能性があり、癌の遺伝子療法の総市場規模は約20倍に増加し、2,600億アメリカドルを超えると期待されます。そうした治療法のブレークスルー（大躍進）を受けて、シーケンシングに対する需要の拡大が加速すると思われ、シーケンシングは通常の医療の一部になると考えられます。また、これらの技術はヘルスケアの分野を超えて拡大してきています。例えば、2025年までCRISPR技術（ゲノム編集技術の一つ）は農業畜産水産物市場を推定でおよそ1,700億アメリカドル拡大させる可能性があり、世界の人口増加が予想されるなかで食料供給を支えるとみられています。人為的要因による土壌汚染や海洋汚染をゲノム技術の活用によって低減させ、それによって持続可能な作物の栽培や水産物の養殖が可能になるとみられます。当ファンドでは、DNAシーケンシングやゲノム編集、AI技術などの融合を活かし、世界経済においてあらゆる産業に影響を与える可能性がある企業を選好していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2023年12月8日から2024年12月9日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

当ファンドについて、2024年11月29日付けにて運用における参考指数の表記を「FactSet Global Biopharma & Ancillary Services Index TR」から「ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービシズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）」に変更いたしました。なお、上記変更は表記の明確化を意図したものであり、参考指数のデータ自体は従前のものから変更ございません。

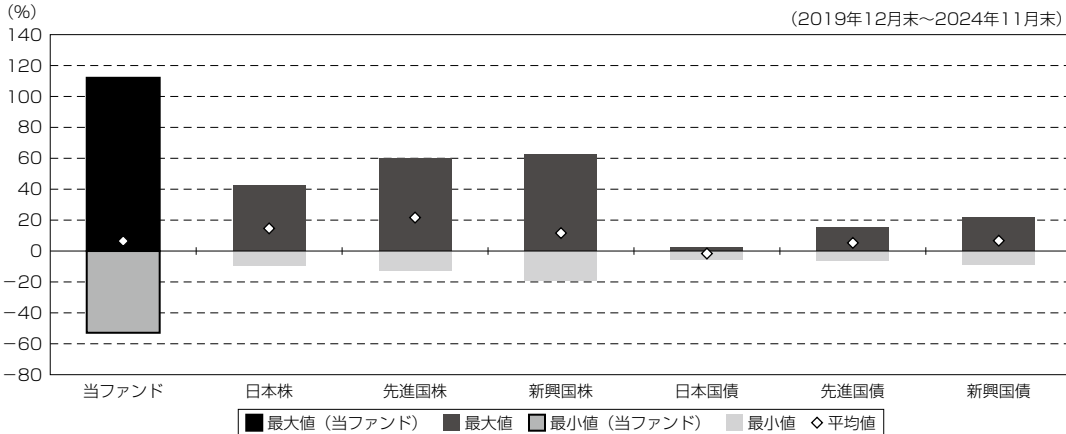
日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年1月16日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	グローバル全生物ゲノム株式ファンド（1年決算型）	「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、ゲノム技術に関連するビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	112.1	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 52.9	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	6.4	14.6	21.6	11.6	△ 1.6	5.3	6.7

- (注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 - (注) 2019年12月から2024年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年1月以降の年間騰落率を用いております。
 - (注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
 - (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- 《各資産クラスの指数》
- 日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)
 - 先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)
 - 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)
 - 日本国債：NOMURA-BPI国債
 - 先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
 - 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)
- (注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●**ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンジラリー・サービスズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)**
 ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンジラリー・サービスズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) は、ファクトセットが開発した世界のバイオ医薬品の開発、研究、製造、ソフトウェア技術等を手がける企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、日興アセットマネジメントが円換算したものです。

指数について

●**東証株価指数 (TOPIX、配当込)** は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●**MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)** は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)** は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**NOMURA-BPI国債** は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●**FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)** は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●**JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)** は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2024年12月9日現在）

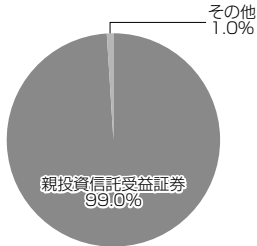
○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

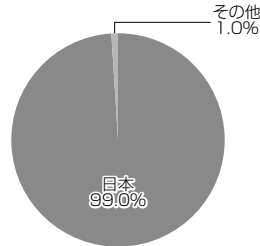
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

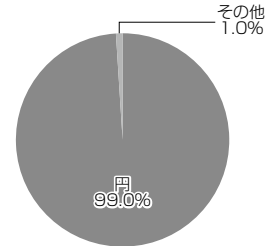
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第6期末
	2024年12月9日
純資産総額	19,849,524,501円
受益権総口数	20,516,192,406口
1万口当たり基準価額	9,675円

（注）期中における追加設定元本額は1,169,009,404円、同解約元本額は9,004,420,954円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年12月8日～2024年12月9日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年12月8日～2024年12月9日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	12 (12)	0.111 (0.111)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.006 (0.006)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (4) (2)	0.046 (0.033) (0.014)
合 計	18	0.163

期中の平均基準価額は、11,017円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月9日現在)

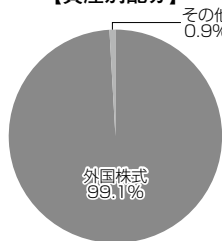
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	NATERA INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	6.6
2	TWIST BIOSCIENCE CORP	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	6.5
3	CRISPR THERAPEUTICS AG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	スイス	6.5
4	VERACYTE INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	6.3
5	ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	5.8
6	GUARDANT HEALTH INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.3
7	RECURSION PHARMACEUTICALS-A	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.9
8	TEMPUS AI INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.2
9	CAREDX INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.1
10	IONIS PHARMACEUTICALS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	3.9
	組入銘柄数		42銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

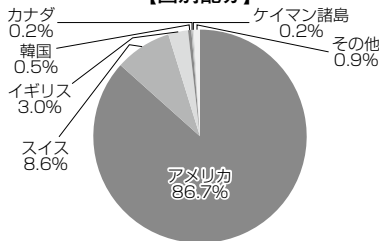
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

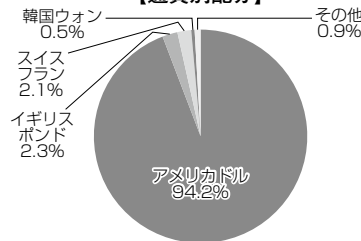
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

グローバル全生物ゲノム株式ファンド（1年決算型）

【貸借対照表】

(単位：円)

	第5期 2023年12月7日現在	第6期 2024年12月9日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	554,705,307	348,995,273
親投資信託受益証券	28,500,234,682	19,648,069,544
未収入金	99,087,658	311,642,050
未取利息	—	2,267
流動資産合計	29,154,027,647	20,308,709,134
資産合計	29,154,027,647	20,308,709,134
負債の部		
流動負債		
未払解約金	112,078,385	263,003,933
未払受託者報酬	6,721,426	4,686,165
未払委託者報酬	268,859,546	187,448,866
未払利息	86	—
その他未払費用	4,773,063	4,045,669
流動負債合計	392,432,506	459,184,633
負債合計	392,432,506	459,184,633
純資産の部		
元本等		
元本	28,351,603,956	20,516,192,406
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	409,991,185	△666,667,905
（分配準備積立金）	11,851,363,826	8,191,514,751
元本等合計	28,761,595,141	19,849,524,501
純資産合計	28,761,595,141	19,849,524,501
負債純資産合計	29,154,027,647	20,308,709,134

【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第5期		第6期	
	自	2022年12月8日 至 2023年12月7日	自	2023年12月8日 至 2024年12月9日
営業収益				
受取利息		1,001		382,406
有価証券売買等損益		△132,463,876		△730,768,936
営業収益合計		△132,462,875		△730,386,530
営業費用				
支払利息		162,525		5,039
受託者報酬		13,425,772		10,653,700
委託者報酬		537,035,788		426,152,372
その他費用		5,443,544		4,642,363
営業費用合計		556,067,629		441,453,474
営業利益又は営業損失（△）		△688,530,504		△1,171,840,004
経常利益又は経常損失（△）		△688,530,504		△1,171,840,004
当期純利益又は当期純損失（△）		△688,530,504		△1,171,840,004
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）		14,992,273		△213,745,852
期首剰余金又は期首欠損金（△）		1,101,244,790		409,991,185
剰余金増加額又は欠損金減少額		239,244,756		16,026,339
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		—		—
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		239,244,756		16,026,339
剰余金減少額又は欠損金増加額		226,975,584		134,591,277
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		226,975,584		134,591,277
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		—		—
分配金		—		—
期末剰余金又は期末欠損金（△）		409,991,185		△666,667,905